

## 目薬のさし方

### 目薬をさす時の注意

- 1.指示された使用方法(用法・用量等)を正確に守って、  
使用してください。
- 2.目薬の容器の先が目に触れないようにしてください。
- 3.数種類の目薬を使う場合は、間隔を5~10分あけてください。

◎動物をフロアーにおいてそのまま目薬をさすのは困難です。  
抱きかかえるか、あるいは食卓などの台に乗せて動かない  
ように保定します。

- ①あごの下に片方の手を添えて、顔を上に向け、親指と人さし指で目薬を持ち、残りの指で上まぶたを開きます。



- ②目薬の容器が犬の視界に入らないように後ろから1~2滴さします。



## 犬猫の目の病気



輝く瞳のために！

角膜

## 目のチェックポイント

あなたのワンちゃん、ネコちゃんの目は大丈夫?  
日頃よりワンちゃん、ネコちゃんの目のチェックを!

左右の目の大きさに違いはありませんか?

物にぶつかったり階段を踏み外すことはありませんか?

目を細くしてまぶしそうにしていますか?

まぶたがかすかに震えていますか?

まぶたが腫れていますか?

まづげに異常はありませんか?

目の周りの毛がぬれていますか?

目が乾いていませんか?

目やにが多くありませんか?

白目が赤くなっていますか?

黒目が白く濁っていますか?

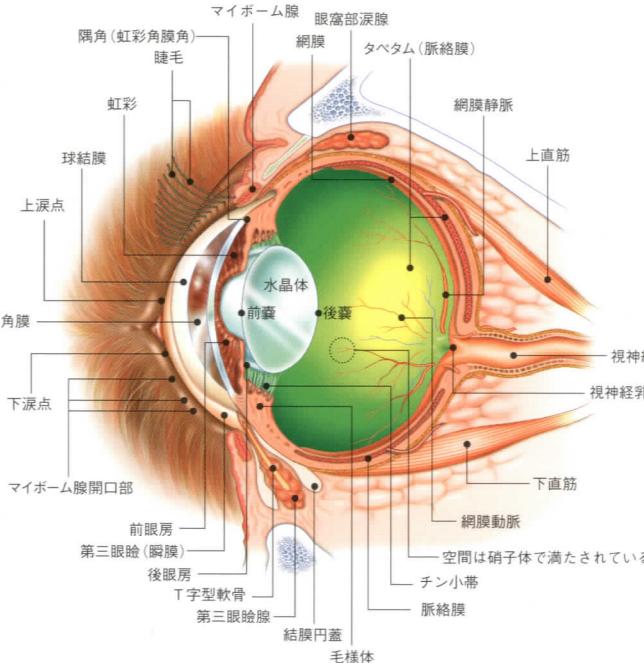
目の中の色(虹彩、水晶体など)に  
変化はありませんか?

(一つでも心当りがあれば当院にご相談ください。)

動物病院名

# 犬・猫の目が健康であるために

## 目のしくみ

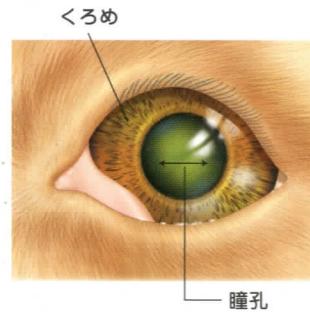


目の構造はカメラに例えられます。

目の組織一つ一つが物を見るのに重要な役割を果たしています。

## 角膜(くろめ)のはたらき

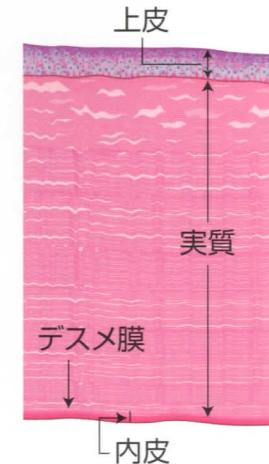
角膜はものを見るため網膜へ像を結ぶための窓口です。角膜は表面の細胞が密に配列されていて外から細菌やウイルスが侵入するのを防ぐとともに、涙で濡れて、レンズとしてものをハッキリと見るための役割を果たしています。



## 角膜(くろめ)の構造

角膜は眼球の約20%を占める血管のない透明な膜で、上皮、実質、デスマ膜、内皮の4つの層で構成されています。上皮は7日、実質は2年で入れ替わることで透明性が維持されています。

角膜には知覚神経が無数に分布しているので、障害を受けると激しく痛みます。



## 角膜(くろめ)の病気

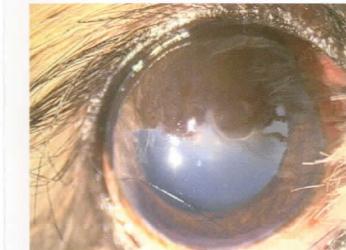
目の表面に位置する角膜は外来の刺激を受けやすく、アレルギー、炎症、切り傷や刺し傷、角膜潰瘍、免疫介在性疾患など、目の病気が一番多いところです。

角膜が障害を受けると激しく痛み、目をショボショボさせる、目を閉じる、涙が流れるなどの症状を示します。



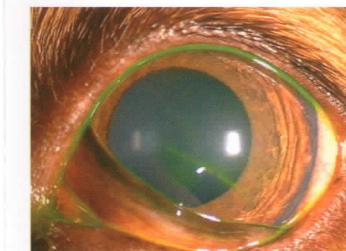
## 角膜炎

角膜に血管が伸びている。



## 色素性角膜炎

角膜に黒い色素ができる。



## 角膜外傷

角膜に傷がある。



## 角膜潰瘍

角膜が白く濁り穴が開いている。

## 角膜(くろめ)の病気の治療

角膜の病気の多くは目薬で治療できますが、中には手術が必要であったり、角膜移植をしなければならないこともあります。